

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



店内がさらに明るくなりました

あんずの里市リニューアル誕生祭



▲地元ミュージシャンによる音楽ステージ

勝浦にある直売所、あんずの里市は4月1日にリニューアルオープンしました。建物を改築し、これまで複数あった売り場が1つに集約された他、駐車場を拡張しました。

4月8日のリニューアル誕生祭では、地元ミュージシャンによるステージや、長芋特設販売、福津産の花オークションも行われ、駐車場が満車になるほどの人でにぎわいました。特設テントでは、あんずの里市の起源になった青空市の時から続くさつま芋のかりんとうの販売や、だんご汁の振る舞いも行われました。あんずの里市利用組合の柴田文敏組合長は「工事の期間はお客さまをはじめ、たくさんの方に迷惑をかけました。新しくなったあんずの里市で生産者一丸となってがんばります」と思いを語りました。

満開のあんずに囲まれて

あんずフェスティバル2018



▲勝浦小学校の児童による獅子楽

「あんずの里運動公園の開業30年を記念して、あんずフェスティバル2018が3月18日に開催されました。ふくつつチャレンジアスロ」では、津屋崎中学校吹奏楽部による演奏や、1748年から勝浦地域に伝わる獅子楽を、勝浦小学校の児童が披露。また、公園のあんずを使った「あんずサイダー早飲み大会」や、新原・奴山古墳群に関するクイズ大会などもあり、集まった観客は盛り上がりしていました。

光の道を駆け抜けて

開運一番駆け



▲開運一番男に輝いた高田友和さん

「走れ！宮地嶽神社 第15回開運一番駆け」が4月8日に開催され、開運一番を目指して競いました。男性の部で一番の高田友和さんは「以前5連覇して、その後10連敗していた。また一番になれてうれしい」と喜びを語りました。女性の部は中野雄子さん、子どもの部は岡田大地さんが一番に輝きました。

大峰山にのぼろう

トレッキングイベントを開催



▲参加者はガイドの熱弁に聞き入りました

ふくつつ観光協会主催の「大峰山にのぼろう」が4月7日に行われ、44人の参加者が山歩きを楽しみました。寒風が吹き荒れる中、帽子を手で押さえながら山頂へ。下山後、あんずの里市の弁当と土産の古墳クッキーが配られ、参加者は「楽しかった。お土産までもらえるとは」と喜んでいました。

地域の歴史を知る材料に

宮司郷づくり推進協議会が郷土史贈呈



▲長瀬理事(左)から市長に手渡されました

宮司郷づくり推進協議会が、図書館や小・中学校に郷土史を贈呈しました。独自の文化事業として行っていて、昨年以降2作目です。今回は新原・奴山古墳群の世界文化遺産登録を記念し、構成資産の歴史などを紹介。理事の長瀬福孝さんは「郷土史を通じ、これからもさまざまな歴史を伝えたい」と語りました。

道路が開通して便利に

JR鹿兒島本線アンダーパスが開通



▲松原上西郷線・福岡駅松原線の開通式

都市計画道路の松原上西郷線と福岡駅松原線の一部が3月28日に開通しました。日蔭野からJR鹿兒島本線をくぐり、松原橋を経て西郷川沿いに旭橋まで結びます。これによって、踏切の渋滞を避けることができ、利便性が向上しました。将来、この道路は福岡駅のみやじ口側に接続する予定です。